

会議議事録

会 議 名	第 2 回教育課程編成委員会	
開 催 日 時	平成 26 年 8 月 30 日（土） 13 時 00 分～14 時 30 分	
会 場	彰栄保育福祉専門学校本館 会議室	
参 加 者	委 員	参加者 9 名、 阿部 光佑、児島 康夫、山本 慎介 帆苺 猛、加藤 啓、伏見 幸子、綾 牧子 芦野 裕一、根本 亮
		欠席者 1 名 林 淳三
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラム ●2014 年度教育課程編成委員会委員名簿 ●彰栄保育福祉専門学校教育課程編成委員会規則 	
会 議 録	<p>1. 校長挨拶（帆苺）</p> <p>2. 会議進行について（加藤） 実習をメインテーマをとして、教育課程の改善に向けて関係する授業などについての要望及び意見交換を行いたい。</p> <p>3. 本校の教育に関する意見交換 （保育科）</p> <p>①実習前の授業編成の内容について、実技・演習系の技術は、実習でもスキルアップを図ることが出来るため、あせらずに基本を学ぶこと。座学の授業は、学生時代にぜひ学んで欲しいという意見をいただいた。 >科目及び授業時間等は規程で定められているため変更することは難しいが、アッセンブリアワー等の活用方法を工夫する。</p> <p>②実習で学ぶべきことについて、「責任実習」等の呼び方が、学生を混乱させている面があるが、実習生に責任を負わせるような実習ではない。自分で考え行動し、たとえ失敗しても、その経験を将来の応用力に繋げ</p>	

ることを要望された。

>自分で考えずに、他人等に安易に答えを求める傾向が強くなっている。今後も、応用力・判断力等の実践力を身につける方法を検討する。

③保育業界の状況及び男性保育者について、業界の現状と課題等を取上げ、学校の教育方針を専任教員だけでなく非常勤と共有して「使命感」を持つ学生を育てて欲しい。

>資格を取ることが目的ではなく、保育者とは価値のある仕事であることを伝えている。チャペルアワー及び学園祭等の行事を通して、引き続き学生の精神的成長を図ることを確認した。

(介護福祉科)

①実習生の受入状況及び指導内容について、本校の生徒は適正がある学生が多く、素直に実習に取り組んでいるが積極性が少々弱い。巡回に来る教員は熱心であり、実習後半にかけて大きく成長しているため、学生と教員との信頼関係を感じていると評価をいただいた。

>介護福祉科の学生たちは、比較的成功体験が少ないため、なかなか積極的に動くことが出来ないが、実習で学ぶことが多く、学生たちは大きく成長している。8月から9月の実習期間でも、各実習に合わせて実習開始前、途中、終了後などに登校日を設定して、実習の内容の理解を深めている。

②介護福祉士国家試験については、官公庁などからの新たな通知はないため、継続して検討する。

4. その他

次回の委員会の日程及び議題等については、改めて連絡する。

5. 閉会